



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月26日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社 (コード番号：7991 東証第 2部)
 (URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 滝沢 三規
 責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 志田 太利夫 (TEL:(048)-858 4880)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 影響額が僅少な項目につき一部簡便な方法を採用
 しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	3,977	13.0	259		232		172	
17年3月期第1四半期	3,520	8.8	35		75		159	
(参考)17年3月期	21,472		1,332		1,131		427	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	4.45	
17年3月期第1四半期	4.11	
(参考)17年3月期	11.01	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のがわ国経済は、景気が停滞気味で、未だ踊り場から脱却できない状況が続いており、原油の高止まり及び消費の低迷など依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期の売上高は39億77万円（前年同期比13.0%増）、経常利益2億32百万円、四半期純利益1億72百万円となりました。

なお、当連結会計年度より、「固定資産の減損に係る会計基準」が適用されますが、当第1四半期の業績には適用しておりません。

次に事業部門別にご報告いたします。

電子機器事業部門では、前年同期と比較すると売上増となっておりますが、当第1四半期におきましては、市場の価格競争激化の影響を受け、計画を下回っております。この結果、売上高は27億1百万円（前年同期比34.0%増）となりました。

光学機器事業部門では、ネット販売、海外代理店の見直しなどを行ないましたが、デジタルカメラの伸長により、中判カメラは厳しい状況が続いております。この結果、売上高は3億77百万円（前年同期比31.7%減）となりました。

スポーツ事業部門では、国内ではプレー費の値下げで客数は増加したものと思われませんが、ゴルフ用品の購入には至らず、海外を含めまして消費の低迷が続いております。この結果、売上高は、8億98百万円（前年同期1.5%増）となりました。

なお、特機事業部門につきましては、本年6月30日をもちまして、電子機器事業部門とスポーツ事業部門に分けてそれぞれ統合しました。従いまして、当第1四半期の売上高1億60百万円につきましては、電子機器事業部門に1億18百万円、スポーツ事業部門に42百万円を計上してあります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況 (百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	24,552	2,964	12.1	76.35
17年3月期第1四半期	24,658	2,373	9.6	61.08
(参考)17年3月期	26,693	2,742	10.3	70.64

【連結キャッシュ・フローの状況】 (百万円未満切捨)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	1,635	10	147	3,454
17年3月期第1四半期	575	106	105	2,623
(参考)17年3月期	3,330	264	1,232	5,241

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は16億35百万円（前年同期は5億75百万円の資金減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2億33百万円、売上債権の減少1億98百万円、たな卸資産の減少2億69百万円等の資金増加要因があったものの、仕入債務の減少23億93百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は10百万円（前年同期は1億6百万円の資金減少）となりました。これは主に、定期預金の解約による収入84百万円があったものの、定期預金の預入による支出4百万円、設備投資にかかる固定資産の取得による支出29百万円、定期積金の積み立てによる支出50百万円等があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1億47百万円（前年同期は1億5百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金の返済（純額）1億45百万円によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前連結会計年度末より17億86百万円減少し34億54百万円となりました。

以上

[参 考]

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	10,230	750	295
通期	23,050	1,360	200

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 5円 15銭

[業績予想に関する定性的情報等]

第1四半期の売上高・利益とも、若干計画を下回っておりますが、当第1四半期末におきましては、平成17年5月20日に開示しました期初の業績予想を変更しておりません。

〔添付資料〕

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3 月期第1四半期 末)	前年同四半期 (平成17年3 月期第1四半期 末)	増 減		(参考) 平成17年3月 期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	3,542	2,813			5,409
受取手形及び売掛金	2,689	3,473			2,869
たな卸資産	5,783	5,970			6,017
その他	160	125			114
流動資産合計	12,176	12,384	208	1.7	14,411
固定資産					
有形固定資産	9,493	9,443			9,498
無形固定資産	68	48			67
投資その他の資産	2,813	2,782			2,716
固定資産合計	12,375	12,274	101	0.8	12,282
資産合計	24,552	24,658	106	0.4	26,693
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	3,678	3,394			6,051
短期借入金	4,272	5,308			4,362
未払法人税等	66	45			34
その他	573	346			485
流動負債合計	8,591	9,095	503	5.5	10,934
固定負債					
長期借入金	11,138	11,370			11,184
退職給付引当金	1,592	1,540			1,563
その他	265	279			267
固定負債合計	12,996	13,190	193	1.5	13,016
負債合計	21,587	22,285	697	3.1	23,950
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	-	-	-
(資本の部)					
資本金	2,958	2,958	-	-	2,958
利益剰余金	154	605	760	-	18
その他有価証券評価 差額金	276	285	9	3.2	264
為替換算調整勘定	405	252	152	60.3	443
自己株式	20	12	7	58.3	18
資本合計	2,964	2,373	590	24.9	2,742
負債、少数株主持分 及び資本合計	24,552	24,658	106	0.4	26,693

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	3,977	3,520	457	13.0	21,472
売上原価	2,766	2,588	178	6.9	16,456
売上総利益	1,210	931	279	30.0	5,015
販売費及び 一般管理費	950	966	15	1.6	3,683
営業利益 (又は営業損失)	259	35	295	-	1,332
営業外収益	70	56	14	25.0	138
受取利息及び 配当金	5	4			7
その他	65	52			131
営業外費用	98	96	1	1.0	339
支払利息	75	67			266
その他	22	29			73
経常利益 (又は経常損失)	232	75	307	-	1,131
特別利益	1	0	1	-	51
特別損失	0	42	42	100.0	694
固定資産売却 却損	0	4			70
その他	-	37			623
税金等調整前四 半期(当期)純 利益又は純損失	233	117	351	-	488
税金費用	60	42	18	42.9	60
四半期(当期) 純利益又は純 損失	172	159	332	-	427

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失	233	117	488
減価償却費	46	55	204
売上債権の増減額(増加：)	198	839	239
たな卸資産の増減額(増加：)	269	212	277
仕入債務の増減額(減少：)	2,393	471	3,120
その他	94	179	380
小 計	1,550	462	3,676
利息及び配当金の受領額	5	4	11
利息の支払額	59	66	277
法人税等の支払額	30	50	80
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,635	575	3,330
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の売却による収入	-	-	118
有形固定資産の取得による支出	29	22	414
定期預金の預入による支出	4	60	40
定期預金の解約による収入	84	0	72
その他	61	23	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	10	106	264
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期(短期)借入による収入	261	403	2,283
長期(短期)借入金の返済による支出	407	507	3,509
その他	1	0	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	147	105	1,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	3	6
現金及び現金同等物の増減額 (減少：)	1,786	790	1,827
現金及び現金同等物の期首残高	5,241	3,413	3,413
現金及び現金同等物の期末残高	3,454	2,623	5,241

4. セグメント情報

(表示区分の変更)

事業区分については、従来、製品の種類、性質の類似性等の観点から「電子機器事業」、「光学機器事業」、「スポーツ事業」、「特機事業」の4区分としていましたが、事業再編成の結果、当連結会計年度より「電子機器事業」、「光学機器事業」、「スポーツ事業」の3区分といたしました。尚、従来、特機事業として区分しておりました製品については、電子機器事業及びスポーツ事業にそれぞれ区分いたしました。

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	電子機器 事業	光学機器 事業	スポーツ 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	2,701	377	898	3,977	-	3,977
営業費用	2,373	660	683	3,717	-	3,717
営業利益	327	282	214	259	-	259

前年同四半期

(単位：百万円)

	電子機器 事業	光学機器 事業	スポーツ 事業	特機 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高	2,015	552	884	67	3,520	-	3,520
営業費用	1,901	818	739	95	3,555	-	3,555
営業利益	114	265	144	27	35	-	35

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又 は全社	連結
売上高	3,251	489	600	4,341	(363)	3,977
営業費用	3,207	429	443	4,081	(363)	3,717
営業利益	43	59	156	259	(0)	259

前年同四半期

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	計	消去又 は全社	連結
売上高	2,775	519	540	3,835	(315)	3,520
営業費用	2,963	442	464	3,870	(315)	3,555
営業利益	188	76	76	35	(0)	35